

3 協働事業実施状況（令和元年度）

別紙3

① 協働の形態：共催（19件）

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---|--------------------|---|---------------------|---|--|
| 1 | まちかどミーティング (協働・男女平等参画室) | 例年実施（昭和47年頃から継続実施） | 市長が各地区に出向いて、町内会や自治会の方と地域が抱える課題や要望等について、意見を交換する懇談の場である。また、市民の方から知っていただきたい情報について、市職員がテーマプレゼンテーションとして説明することにより、双方向の対話形式になるよう取り組んでいる。 | 82町内会 | 令和元年 8月27日～ 令和元年11月6日（530人） 16地区で開催 | 例年まちかどミーティングで400件程度の意見や要望等が提出されており、各担当課で対応をしている。市が行うテーマプレゼンテーションについて、出席者からは、市の取組をわかりやすく説明してくれて大変いい、継続して行ってほしいという意見が出ている。 |
| 2 | YomYom世界のお話広場 外国人による絵本の読み聞かせ (国際リゾート戦略室) | 例年実施（平成28年頃から継続実施） | 外国人による絵本の読み聞かせを通して外国の言葉や文化に触れることで、市内の子供たちが異文化に関心を持つきっかけを作る。 | 苫小牧東ロータリークラブ | 令和元年 5月19日（53人） | 主に未就学児とその保護者が参加し、定員の40人を大幅に超えるなど大きな反響があった。 |
| 3 | 小学生こども国際交流バスツアー (国際リゾート戦略室) | 単年度（新規）実施 | 札幌市の国際関係施設（JICA北海道、在札幌ロシア連邦総領事館）を訪問し、開発途上国の現状と現代社会の国際化をテーマとした研修・体験事業を行うことで、市内の子供たちが外国や異文化に関心を持つきっかけを作る。 | 苫小牧国際交流関係団体連絡協議会 | 令和元年 8月 1日（32人） | 市内小学校を中心に広く事業の周知を行ったことで、多くの小学生の参加に繋がり、国際理解教育に一定の効果があった。 |
| 4 | ノーザンホースパークマラソン2019 (スポーツ都市推進課) | 例年実施 | ノーザンホースパークを会場とし、苫小牧市・安平町・千歳市を回る特設コースとなっている。競技は、ハーフマラソン、トレイルラン、ペアマラソン、ハーフ+トレイルの4種目がある。 | ノーザンホースパークマラソン実行委員会 | 令和元年 5月12日 (3,099人) | 地域住民の参画で、地元の利益に役立っている。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|-----------------------------|--------------------|---|-----------------------|--|--|
| 5 | 消費生活講演会 (市民生活課) | 例年実施 | 消費者が主体的に合理的な消費生活を実践できるよう基礎的な知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図る。 年1回講演会を実施し、テーマや講師選択、実施について協力。 | 苫小牧消費者協会 | 令和元年11月 9日 (約39人) | 来場者の皆さんに専門家からの様々な情報や基礎知識を提供することができた。 来場者からも気になっていたことを知ることができて良かったとの声があった。 |
| 6 | ボラセン・フェスティバル2019 (総合福祉課) | 例年実施(平成28年頃から継続実施) | ボランティアの交流、ネットワークづくり、活動の活性化。ボランティア団体等によるステージ発表、パネル展、ボランティア体験等。 | 社会福祉法人苫小牧市 社会福祉協議会 | 令和元年10月26日 (561人) | ボランティア同士の交流と活動ネットワークを広げることができた。 また、多くの市民にボランティア活動の現状について発信することができた。 |
| 7 | 令和元年度市民講演会 (介護福祉課) | 例年実施(平成29年頃から継続実施) | 様々な形の看取りと、それを支えることの大切さや、本人と本人を支える方々の思いなどを感じていただくことで、住み慣れた場所での療養という選択肢を知っていただくことを目的とする。 | 高齢者等の地域ケアを進める会 | 令和元年 6月 1日 (160人) | 「とても感動した」、「看取る場所の選択肢が増えた」などのご意見があり、在宅療養に対する市民の関心度が高まったものと考えている。 |
| 8 | リーダー養成事業 (青少年課) | 例年実施(昭和52年頃から継続実施) | さまざまな体験活動から積極的に社会参加するたくましい青少年を育成する目的でリーダー養成事業を行っているが、本事業は苫小牧市子ども会育成連絡協議会の公園事業であり苫子連主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。 | 苫小牧市子ども会育成 連絡協議会 | 子ども会交流会 令和元年 6月29、30日 (23人) サマーキャンプ 令和元年 8月 5日～7日 (29人) 子ども会スポーツ交流会 令和元年 9月28日 (16人) 子ども会カルタ大会 令和元年11月17日 (28人) ウィンターキャンプ 令和 2年 1月11、12日 (13人) 子ども会芸術祭り 令和 2年 2月 8日 (236人) | 子ども達の育成について、市が単独で事業を実施するよりも協働して計画及び実施することで、子ども達に多くの学習機会を提供することができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展に繋がっていると考えている。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---|--------------------|---|---|------------------------|---|
| 9 | とまこまいキッズタウン (青少年課) | 例年実施(平成25年頃から継続実施) | 「とまこまいキッズタウン」という仮想上の街で、苫小牧市内の小学3、4年生が市民となり、就労体験及び仮想の労働報酬による消費体験をする場を提供し、未来を担う子ども達が、働くことの喜び・苦労などの体験を通して、社会への興味を育み、健やかな成長を応援する。 | 北海道コカ・コーラ(株) | 令和元年10月6日 (約1,200人) | 子ども達の育成について、市が単独で事業を実施するよりも協働して計画及び実施することで、子ども達に多くの学習機会を提供することができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展に繋がっていると考えている。 |
| 10 | 健康フェスタと とまこまい2019 (健康支援課) | 例年実施(平成27年頃から継続実施) | 市民一人ひとりが健康を意識し、能動的かつ継続的に健康づくりに取り組む環境整備の一環として実施。 ポピュレーションアプローチを実施することにより、健康意識の向上及び食事や運動等の生活習慣改善の意識づけをし、市民の健康保持・増進、健康寿命の延伸を図ることを目的とする。 | 一般財団法人ハスカッププラザ | 令和元年9月22日 (約1,512人) | 来場者アンケートでは、今年度の健康フェスタについて、「満足」・「やや満足」と回答した者は約9割であった。また、生活習慣について考える上での参考になったと回答している者も約9割であった。今後の生活習慣で取り組みそうな内容としては、運動・食事・生活リズムの改善と回答した者が多い。これらのことから、イベントの満足度は高く、生活習慣の改善についても効果があると考えられる。 |
| 11 | 子ども現場見学会「夏休み宿題教室」 (港湾・企業振興課) | 例年実施(平成23年頃から継続実施) | 市民へ地球温暖化やCCSに関する情報提供・周知を行う。 | 日本CCS調査株式会社 (主催) | 令和元年8月6日 (約40人) | 子ども達に身近な炭酸飲料や風船等を使用した実験が好評であり、地球温暖化やCCSについて、子供たちが積極的に学び質問する姿が見られた。 |
| 12 | CCS講演会「地球温暖化とCCS」 (港湾・企業振興課) ※後援もあり | 例年実施(平成23年頃から継続実施) | 市民へ地球温暖化やCCSに関する情報提供・周知を行う。 | 日本CCS調査株式会社 (主催)、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、苫小牧CCS促進協議会(市事務局) | 令和2年2月13日 (約600人) | 会場でも複数の質疑応答が行われ、市民のCCSや地球温暖化への関心が示された。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|--|----------------------------|---|------------------|--|---|
| 13 | 北海道職業能力 開発大学校 能 力開発セミナー (テクノセン ター) | 例年実施（平成27 年頃から継続実 施） | 苫小牧地域の製造関連企業 に対して人材育成を実施する ために令和元年度技術者研修 を計画・実施する。 | 北海道職業能力開発 大学校 | 精密測定技術 令和元年 6月 3、4日 (3人) 実践機械製図(基礎製図 コース) 令和元年 6月27、28日 (2人) 生産現場で使う品質管理技 法 令和元年 7月 2、 3日 (4人) 電気系保全作業(検定実技 対策) 令和元年10月17、18日 (6人) 機械系保全作業(検定実技 対策) 令和元年11月 7、8日 (8人) 機械検査作業実技(検定実 技対策) 令和元年11月 7、8日 (6人) 検定学科・実技対策：特級 Ⅰ(生産現場に活かす品質 管理技法Ⅰ) 令和元年12月 5、6日 (4人) 検定学科・実技対策：特級 Ⅱ(生産現場に活かす品質 管理技法Ⅱ) 令和元年12月12、13日 (4人) 生産現場に活かす品質管理 技法 令和 2年 1月29、30日 (7人) | セミナーで取得できる技術 は、自動車関連や一般機械器具 など、苫小牧地区の製造業に とって非常に有用な技術であ り、地域企業の技術力向上に寄 与できる。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---|--------------------|--|--|---|--|
| 14 | 市民技能体験教室「庭木の剪定」「内装」「日曜大工」「左官」 (工業・雇用振興課) | 例年実施(昭和62年頃から継続実施) | 4種共通目的:市民と技能士とのふれ合いを通じて、技能そして技能士制度への理解を深める。 ・庭木の剪定:庭の手入れについて講義と実技指導 ・内装:家のクロスの剥がし方、貼り方の講義と実演 ・日曜大工:フリーシェルフの組立、塗装 ・左官:田舎灯籠作り ※「左官」は新型コロナウイルスの影響で中止 | (一社) 苫小牧地域職業訓練センター運営協会 ・庭木の剪定:苫小牧造園協同組合 ・内装:苫小牧内装業協会 ・日曜大工:苫小牧建築大工技能士会、苫小牧塗装工業協同組合 ・左官:苫小牧地方左官協同組合 | 庭木の剪定 令和元年 9月28日 (20人) 内装 令和 2年 1月18日 (22人) 日曜大工 令和 2年 2月 9日 (15人) 左官 新型コロナウイルスの影響で中止 | 無回答の2人を除く受講者全員が満足したとのアンケート結果となった。 |
| 15 | 令和元年度移動工業試験場 (テクノセンター) | 例年実施(平成10年頃から継続実施) | 道内中小企業の技術力の向上及び地域産業の振興発展を図ることを目的とする。 技術力向上のための道総研移動技術講習会を実施。 | 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 | 令和元年11月 5日 (27名) | 新たな技術に触れることは、苫小牧地区の製造業にとって非常に有用であり、地域企業の技術力向上に寄与できる。 |
| 16 | 市民植樹祭 (緑地公園課) | 例年実施(昭和46年頃から継続実施) | 市民植樹祭は、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する市民の理解を深め、緑豊かで美しい苫小牧市を形成する。 | 苫小牧市まちを緑にする会 | 令和元年 5月 12日 (100人) | 昭和46年度から毎年実施し、延べ約1万5千人の市民参加の下、46,848本の植樹を行い、緑豊かな公園や森林が形成された。 |
| 17 | 「いとう みく」さん講演会 「物語を書くということ」 (中央図書館) | 単年度(新規)実施 | 共催団体と図書館で講師を招聘し、団体員・市民に対して著名な絵本作家からの講話による読書活動の促進を図る。 | 苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会 | 令和元年 9月 7日 (82人) | 児童文学作家ということで当初、集客を心配したが、大盛況のうちに終了した。講演後、著作の本の予約が入るなどよい反響があった。 |
| 18 | 市民のための医学講座 第4回 「前立腺がんを知ろう！」 (中央図書館) | 例年実施(平成28年頃から継続実施) | 専門機関と協働することで参加市民に幅広い情報に触れてもらい、図書館の活用方法について関心を持ってもらうことを目的とする。 | 王子病院、市立病院 | 令和 2年 2月 1日 (65人) | 今回は、テーマが「前立腺がん」ということもあり、男性の高齢者中心の参加者であった。みなさんの関心も高いようで熱心に質問される方も多かった。あわせて関連本の展示、がん情報ハンドブックの展示も常設として展開した。今回4回目となるが、今後も継続して実施する予定。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---|-----------|---|----------------|------------------|--|
| 19 | マッチラベルで 豆本を作ろう！ (自分だけの物 語にもチャレン ジ) (中央図書館) | 単年度(新規)実施 | アートフェスティバルの一環 として実施。小学生以下を対象 としたワークショップ。アート 性の高いマッチラベルの世界を あじあうとともに、豆本を作る ことで発想・想像力を刺激し、 楽しんでもらう企画。 | メディアまちっくす | 令和元年 7月28日 (15人) | 小学生を対象として15人定員制 で実施。当日は保護者の付添も併 せ24人の参加となった。アート フェスに相応しい企画となった。 |

② 協働の形態：実行委員会・協議会等（18件）

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|-----------------------------|--------------------|---|-----------------------------------|--|--|
| 1 | FMとまこまい実行委員会 (政策推進課) | 単年度（新規）実施 | 苦小牧市のコミュニティFM局の設立・放送開始 | FMとまこまい実行委員会（前名称：コミュニティFM準備実行委員会） | 令和元年 9月10日（約10人） 令和元年12月22日（約20人） 令和 2年 1月23日（約10人） 令和 2年 2月13日（約10人） | 開局に向けた課題に対し、市の窓口となり解決へ向けた協力を行った。 |
| 2 | 統計研修会 (政策推進課) | 例年実施（昭和37年頃から継続実施） | 市政を推進するための統計の進歩向上に寄与する。 (1)統計の研修に関すること (2)統計に功労のあった者のほう賞に関すること (3)会員の融和交流に関すること (4)統計の進歩向上に必要と認められること | 苦小牧市統計協議会 | 令和元年 7月26日（約29人） 令和 2年 1月29日（約22人） | 研修会等を通じて統計調査員の資質向上、市の行政運営に寄与した。 |
| 3 | 樽前アートフォトコンテスト (まちづくり推進課) | 2年に一度実施 | 市長公約である樽前地区地域振興計画に盛り込んだ22の施策の中で、アートフォトコンテストは樽前地区の魅力を広く一般に知ってもらうための事業である。 また、こうしたことをきっかけに、地域を訪れる人が増えることで交流人口が増加し、地域の活性化に寄与するものと考えている。 | 樽前アートフォトコンテスト実行委員会 | 「樽前アートフォトコンテスト2018」作品展 令和元年 6月24日～ 令和 2年 2月28日 | 7会場にて延べ80日間行った展示会を通じて、樽前地区のPRを行うことができた。 |
| 4 | 公共交通利用促進事業 (まちづくり推進課) | 例年実施（平成24年頃から継続実施） | (1)地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃・料金等に関すること (2)連携計画の策定及び変更の協議に関すること (3)連携計画の実施に係る連絡調整に関すること (4)連携計画に位置づけられた事業の実施に関すること (5)市町村運営有償運送の必要性及び旅客から収受する対価に関する事項 (6)その他協議会が必要と認めること など | 苦小牧市公共交通協議会 | 令和元年 6月 6日（約17人） 令和元年 8月 7日（約17人） 令和元年10月17日（約15人） 令和 2年 1月21日（約17人） | 市内バス路線やJRなどに対し、ダイヤ編成、利用満足度などの面で、実際の利用者である市民の声を反映できる。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|----------------------------------|--------------------|--|--------------------------------|--|--------------------------------------|
| 5 | 国際アイスホッケー中学生交流会 (スポーツ都市推進課) | 例年実施(平成10年頃から継続実施) | カナダのトライシティと本市の中学生がそれぞれの国の文化とスポーツを味わう機会を作ることを目指し、アイスホッケーを通して競技力向上と普及を図るとともに両国の交流を盛んにする。 | 国際アイスホッケー中学生交流会 苫小牧市実行委員会 | 令和元年度は新型コロナウイルス蔓延のため中止 | |
| 6 | 八地区スポーツフェスティバル (スポーツ都市推進課) | 例年実施(昭和51年頃から継続実施) | 市内を八地区に分け、住民の自主的な参加による各種スポーツ大会を補助し、地域で気軽にスポーツに参加できる機会を提供する。 | 各地区スポーツフェスティバル実行委員会 | 錦岡 令和元年 8月25日 糸井 令和元年10月 5日 令和元年10月20日 令和元年11月23日 中央東 令和元年 9月29日 中央南 令和元年 9月 8日 令和元年10月 6日 中央西 令和元年10月 3日 令和元年11月 3日 中央北 令和元年 9月 1日 令和元年10月27日 沼ノ端 令和元年 9月29日 令和元年10月20日 勇払 令和元年 9月 8日 令和元年10月 5日 ※延べ1,492人 | 住民が気軽にスポーツに参加できる機会を創出できた。 |
| 7 | 全国高等学校選抜アイスホッケー大会 (スポーツ都市推進課) | 例年実施(平成18年頃から継続実施) | 氷上の甲子園としてインターハイと並ぶ全国大会を開催し、競技人口と観戦者を増加させアイスホッケー競技の底辺拡大を図る。 | 全国高等学校選抜アイスホッケー大会 苫小牧市実行委員会 | 令和元年 7月30日～ 令和元年 8月 4日 (866人) 全国27チーム 選手、大会役員等を合わせて814人が参加した。観客動員数は延べ8,081人。 | ジュニア世代のアイスホッケー競技力の向上や、地域活性を図ることができた。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|----------------------------------|--------------------|--|-------------------------------|--|--|
| 8 | 苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会 (ゼロごみ推進課) | 例年実施(平成5年頃から継続実施) | ごみの減量、資源化を全市的な運動とすることを目的に、資源回収登録団体の組織として設立。市民と市の協働により集団回収活動が効率よく行われるよう情報提供及び資源回収団体の拡大を実施。 ①集団回収(通年) ②資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換と連携の強化 ③資源回収団体奨励金制度による支援(前期分:188団体) | 町内会、自治会、老人クラブ、学校PTA、同好会、各種団体等 | 集団回収 平成31年 4月14日～ 令和元年 5月13日 (179団体16,187人) 令和元年10月 1日～ 令和元年10月31日 (205団体14,983人) | 集団回収活動は、ごみの減量・リサイクル、地域のコミュニティ活動にもつながることから今後も活動を支援する。 |
| 9 | 苫小牧市環境基本計画推進会議による実施事業 (環境保全課) | 例年実施(平成16年頃から継続実施) | 環境基本計画を推進するため、市民、事業者及び団体、市の三者で構成し、市民の環境意識を高めるために、地球温暖化対策や自然環境保全などの事業の実施に向けて企画及び行動を行う。 | 苫小牧市環境基本計画推進会議 | エコ企業見学会と植樹会 令和元年 5月21日(17人) せせらぎスクール 令和元年 7月30日(25人) ウトナイ湖漁業体験(環境生活課コラボ) 令和元年 8月25日(53人) 秘密基地を作るう 令和元年10月26日(12人) 親子でエコ・クッキング教室 令和 2年2月22日(15人) | 環境基本計画推進会議主催事業(5事業)を開催し、多数の市民の参加により計画の推進と環境意識の向上が図られた。 |
| 10 | とまこまい港まつり (観光振興課) | 例年実施(昭和30年頃から継続実施) | 市内最大のイベントである港まつりの開催・運営。 中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約150店舗の露店の出店。その他一条通では市民おどり、マーチングフェスティバル、港湾エリアでは護衛艦等の一般公開や納涼花火大会を行っている。 | とまこまい港まつり実行委員会 | 令和元年 8月 2日～ 4日 (約358,000人) | 多くの市民が参加することにより、ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む事ができている。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|-----------------------------------|---------------------------------------|---|--------------------------------|---|--|
| 11 | とまこまいスケートまつり (観光振興課) | 例年実施(昭和40年頃から継続実施) | 冬的一大イベントであるとまこまいスケートまつりの開催・運営。 中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約50店舗の露店の出店。その他スケート競技やアイスホッケー大会の開催や苫小牧名物「しばれ焼き」の開催等。 | とまこまいスケートまつり実行委員会 | 令和2年2月1、2日 (約49,000人) | スケートの街「氷都とまこまい」を市内外にPRし、市外からの観光客も多く訪れている。特に「しばれ焼き」は苫小牧を代表する名物として広く愛され、子ども達が楽しめるアトラクションも多く、家族で楽しめるイベントとなっている。 |
| 12 | PMF 苫小牧公演 (生涯学習課) | 例年実施(平成3年度から実施し、平成14年度から実行委員会形式で継続実施) | 市民に一流の文化芸術に触れる機会と活動のきっかけ、さらなる意欲創出に繋がることから、各種団体や企業とのタイアップし、鑑賞する機会を創出することを目的としている。 | パシフィック・ミュージック・フェスティバル 苫小牧実行委員会 | 平成31年4月15日(約8人) 令和元年10月23日(約6人) ※令和元年度開催「PMF 2019 苫小牧公演 - PMF オーケストラ演奏会」 令和元年7月15日 来場者数1,002人(定員1,630人) 61.4% | 各種団体や企業と取り組むことで公演への理解や信頼を深めるとともに、市民に一流の文化芸術に触れる機会を創出することができた。 |
| 13 | 苫小牧アートシアター鑑賞事業 (生涯学習課) | 例年実施(平成23年度から実行委員会形式で継続実施) | 市と企業の協働により、少しでも低料金で多くの苫小牧市民に本物に触れる機会を提供することを目的としている。 | 苫小牧アートシアター鑑賞事業実行委員会 | 令和元年6月5日(約5人) 令和2年2月4日(約5人) ※令和元年度開催「鍵盤男子コンサート2019 Freedom」 令和元年11月22日 来場者数456人(定員500人) 91.2% | 各種団体や企業と取り組むことで公演への理解や信頼を深めるとともに、市民に本物の文化芸術に触れる機会を創出することができた。 |
| 14 | 苫小牧アートフェスティバル 実行委員会 (生涯学習課) | 例年実施(平成22年頃から継続実施) | 出光カルチャーパークと周りの文化施設が連携し、「誰もが気軽に文化芸術に触れる機会の充実」を基本コンセプトに市民に気軽にアートに触れてもらうとともに、出光カルチャーパークのすばらしさを知っていただき、市民の憩いの空間の形成を目的としている。 | 苫小牧アートフェスティバル実行委員会 | 委員会 平成31年4月27日(7人) 令和元年6月6日(6人) 令和元年7月20日(7人) 令和元年10月23日(9人) 令和2年2月17日(8人) (委員会延べ37人) イベント 令和元年7月27、28日 (約13,400人) | ワークショップの開催や一般団体の発表機会などを通じ、多くの市民が気軽に文化芸術に触れる機会が作られたとともに、出光カルチャーパークの良さを知ってもらう機会につながった。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|--------------------------|------------------------------------|---|------------------------------------|---|---|
| 15 | 青少年ミュージックキャンプ (生涯学習課) | 例年実施(平成19年 度から実行委員会形 式で継続実施) | 市内の小中学生を対象に一流 の講師の指導により音楽の演奏 レベルの向上を図り、互いの交 流を深めながら音楽への関心を 高め、豊かな感性を育て、苫小 牧市の文化芸術の振興に寄与す ることを目的としている。 | 青少年ミュージック キャンプ実行委員会 | 委員会 令和元年 9月11日(11人) 令和元年12月 5日(9人) 令和 2年 1月28日(12人) (延べ32人) イベント 新型コロナウイルスの影響で 中止 | 一流の講師の指導により、演奏 レベルの向上につながり、交流を 深める機会にもなっており、文化 芸術の振興に寄与している。 |
| 16 | 苫小牧市成人式 (生涯学習課) | 例年実施 | 成人式の式典の企画立案や成 人式当日の運営に参画すること で、主体的に行動する苫小牧市 民としての自覚を深め、今後の 積極的な生涯学習活動への参加 を促す。 | 成人式実行委員会 | 委員会 令和元年 9月18日(7人) 令和元年10月 2日(5人) 令和元年10月16日(7人) 令和元年10月28日(6人) 令和元年11月12日(6人) 令和元年11月20日(5人) 令和元年12月 4日(8人) 令和元年12月18日(4人) 令和 2年 1月 8日(7人) リハーサル 令和 2年 1月11日(7人) 式典 令和 2年 1月12日(8人) (延べ70人) ※令和 2年苫小牧市成人式 ・出席者1,211人(対象者 1,482人)出席率 81.7% | 活動を通じて、これからの地域 を担う主体としての自覚を深める とともに、地域で活動する団体や 市に対する理解・信頼を深めた。 |
| 17 | 苫小牧市民文化 祭 (生涯学習課) | 例年実施(昭和23年 頃から継続実施) | 広く苫小牧市民が文化芸術に 関する学習成果や活動成果を 発表する場を提供することを目的 として、例年10月～11月にか け、ステージ発表、文芸大会、 総合展示発表、地域文化祭な ど、苫小牧市文化団体協議会 の主導による多くの市民の協力 で行っている。 | 苫小牧市民文化祭実行 委員会(苫小牧文化団 体協議会等) | 市民文化祭表彰式・交流会 令和元年11月23日(137人) | 文化団体等の市民と共通のイベ ントに対して共に取り組むこと で、目標や課題を共有しながら、 文化芸術に関する学習成果や活動 成果を発表・鑑賞する場を創出し ている。 また、地域の文化団体の交流の 場にもなっており、地域や文化団 体のつながりづくり、各文化団体 のコラボレーション等による相乗 効果も見込まれる。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体 等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|----------------------------|------|--|--------------------|---|--|
| 18 | 選挙啓発事業 (選挙管理委員 会事務局) | 例年実施 | 市民の政治参加意識の向上を 図るとともに、選挙の大切さを 伝え、投票参加を促す。 また、選挙の確実な執行に協 力をする。 | 苫小牧市明るい選挙推 進協議会 | 平成31年 4月13日(22人) 令和元年 5月11日(8人) 令和元年 7月14日(25人) 令和元年 8月 3日(6人) 令和元年10月20日(5人) 令和 2年 2月 1日(7人) ※期日前投票所立会人数 北海道知事及び北海道議会議 員選挙 平成31年 4月 7日(74人) 苫小牧市議会議員選挙 平成31年 4月21日(58人) 参議院議員通常選挙 令和元年 7月21日(71人) | 4月執行の統一地方選挙及び7 月執行の参議院議員通常選挙で は、期日前投票所の立会人を会員 により賄っており、確実な選挙の 執行に貢献している。 また、各選挙の期日前投票の開 始に併せて啓発を行うことによ り、投票日の周知を図ることがで きた。 |

③ 協働の形態：その他（事業協力）（26件）

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---|-----------------------|--|--|--|--|
| 1 | 苫小牧市ワーク ライフバランス 等企業表彰 (協働・男女平 等参画室) | 単年度（新規）実施 | 男女平等参画社会の実現に向け て、仕事と家庭等が両立できる職 場環境づくりや、いきいきと働き 続けることができる職場の実現に 向けて、取組を実施している市内 の企業、社団法人、財団法人、NPO 法人等を表彰して、広く事例を公 表することで、ワークライフバラ ンスや女性活躍に関する働き方 についての社会的気運の醸成を図 ることを目的とする。 | 平等社会を推進する ネットワーク苫小牧 苫小牧商工会議所 (一社) 北海道中小企 業家同友会苫小牧支部 (一社) 苫小牧青年会 議所 | 表彰企業の募集 令和元年 6月3日～ 平成元年 8月30日 表彰式 令和元年11月27日（約60人） | 表彰式及び男女平等参画推進講 演会終了後のアンケート調査か ら、表彰企業の事例発表は、自社 の取組にできることや自社でやっ ている取組の方向性を確認でき るなど有用な事業であるとの声が多 く、ワークライフバランスと女性 の活躍について、理解が深まった との回答が多く寄せられた。 今後についても、事業を継続 し、ワークライフバランス等の市 内事業所の気運醸成を図る。 |
| 2 | 官民合同研修 (協働・男女平 等参画室) | 単年度（新規）実施 | 子育てや介護をしながらも働き やすいと実感できる職場環境づく りを市内全体で進めるため、経営 者及び管理職にイクボス及びワー ク・ライフ・バランスの趣旨や効 果を学んでもらい、意識の向上を 図る。 | 平等社会を推進する ネットワーク苫小牧 苫小牧商工会議所 (一社) 北海道中小企 業家同友会苫小牧支部 (一社) 苫小牧青年会 議所 | 令和元年11月27日（約60人） | イクボスの考え方や効果、意識 の仕方など経営者と従業員という 立場の違いはあるが、働きやすい 職場環境をつくることを、会社の 利益の増加及び地域力の向上とな ることを伝えることができ、アン ケート結果からも部下への声掛け を密にするや部下の発言に耳を傾 けたいなど意識が変わった旨の 声があり、一定の効果があつたもの と考える。 |
| 3 | 国際交流ボラン ティア事業 (国際リゾート 戦略室) | 例年実施（平成4年 頃から継続実施） | 国際交流や国際協力に関心のある 市民に国際交流ボランティアとし て登録してもらうことで、市民 と共にまちの国際化を進めること を目的とする。 | 国際交流ボランティア 登録者（令和元年度末 登録者数170人） | ●国際交流サロン日本語教室の ボランティア講師（通年実施：7 人） ●国際化推進事業への参加協力 （参加者の一部がボランティア 登録者） ・ぐる～りWorld交流会（8月： 72人） ・国際理解講座（11月：36人） | 外国人住民との交流や日本人市 民が異文化を理解するきっかけと なるなど、まちの国際化に一定の 効果を与えている。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|--|--------------------|---|--|---|--|
| 4 | とまこまい得するまちのゼミ ナール (まちづくり推進課) | 例年実施(平成24年頃から継続実施) | 市民が学び知る場を商店街に設け、個店の活力や集客力、通りの魅力向上を目的に、各個店の店主等が講師として開設するまちゼミの開催に係る事業費の一部を補助する。また、開催の周知・PRの支援を行う。 | 苫小牧駅前通商店街振興組合 苫小牧駅通中心商店街振興組合 | 令和元年 9月26日～ 平成元年10月30日(約238人) | 本事業を通して、個店や店主の魅力度をPRし、今後の顧客に結びつけるとともに、商業者間の連帯意識を高めることができた。また、日常あまり商店街を訪れることのない人々に足を運んでもらうことで、商店街の再発見や賑わいづくりに繋げることができた。 |
| 5 | 苫小牧市自主防災組織連合会の運営 (危機管理室) | 例年実施(平成28年から継続実施) | 各自主防災組織のネットワークを構築し、情報の共有化を柱とした活動を推進。地域間の防災活動に見られる格差の解消と防災知識の向上を図る。 | 市内で設置されている町内会の自主防災組織60町内会のほか、総合防災訓練実施時においては、苫小牧市消防団、苫小牧警察署などの防災関係機関も参画 | 専門委員会 平成31年 4月 1日(9人) 幹事会 平成31年 4月18日(15人) 総会 令和元年 5月 9日(47人) 苫小牧市総合防災訓練 令和元年 9月 1日(約400人) 北海道地域防災マスター認定研修会 令和元年10月26日(53人) 地域防災フォーラム 令和元年11月12日(約200人) 苫小牧市民防災講座 令和 2年 1月29・30日(246人) | これまで町内会単位で実施されていた地域防災活動について、新たに具体的な情報共有体制が構築され、相互に情報交換や訓練等の地域活動がしやすくなる。 |
| 6 | 災害時要援護者支援プラン(避難行動要支援者支援制度)の構築 (危機管理室) | 例年実施(平成28年から継続実施) | 災害時に自分ひとりで移動したり、情報を得たりすることが難しく、災害が起きた時に手助けが必要な要支援者を、近隣の地域、町内会、自主防災組織等の人たちで支える仕組み。 現行のプランは、平成25年に東日本大震災での教訓を踏まえ、災害対策基本法が改正され、市町村長に「避難行動要支援者名簿」の作成が義務付けられるとともに、本人同意のもと避難行動要支援者名簿を、地域の町内会・自主防災組織等に事前に提供する避難支援策となり、その新制度による推進を図っている。 | 市内で設置されている町内会、自主防災組織等の43町内会に導入。今後、ブロック毎、個別等の説明会等を実施して、全町内会にシステムを構築していく。また、社会福祉協議会、苫小牧市消防本部、苫小牧市消防団、苫小牧警察署等の関係機関と協力・連携し、構築の推進を図る。 | 避難行動要支援者制度説明会 令和元年11月14日(20人) ※北光町内会 | 災害時における情報伝達、安否確認などの具体的な避難支援等の実効性を高めることができ、特に要支援者は、安心感を持つことができたとの声があがっている。 反面、地域の高齢化に伴い、支援の受け手に対して地域の担い手の人数が少ない等の問題が生じている。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|-------------------------------------|--------------------|---|--|--|--|
| 7 | 「消費者月間」 街頭啓発 (市民生活課) | 例年実施 | 市と消費者団体、婦人団体との協働により、消費者情報や消費者被害防止の情報提供及び市消費者センターの活用について街頭啓発 | 苫小牧消費者協会ほか2団体 | 令和元年 5月10日 (安全安心生活課職員と計14人で啓発リーフレット等を1,000部配布) | 啓発リーフレット等を4か所で1,000部配布し、消費者被害防止等に対する意識向上を図ることができた。 |
| 8 | 「みんなの消費生活展」 (市民生活課) | 例年実施(昭和54年頃から継続実施) | 消費者団体、市民団体等の出展により、暮らしに役立つ知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図る。 | 苫小牧消費者協会ほか12団体の出展・出店(消費生活展と併催の「福祉・ふれあい市場」出店の6福祉団体を含む。) | 令和元年11月 9、10日 (ステージ参加を含み、出店16団体で約110人、福祉・ふれあい市場の出展7福祉団体約26人) | 来場者数は2日間で835人。出展した消費者団体等の取組を通じて消費者意識の高揚が図られた。 |
| 9 | 苫小牧市エコストア認定 (ゼロゴミ推進課) | 例年実施(平成20年頃から継続実施) | 環境に配慮している店舗をエコストアに認定し、広く市民に情報提供することで、市民と店舗と市が連携してごみの減量化やリサイクル活動に取り組み、循環型社会の構築に向けた環境にやさしいライフスタイルの確立とまちづくりの推進を図る。 エコストア認定店へ認定書及びプレートを交付し、掲示してもらうことで啓発を図る。(苫小牧市エコストア認定制度要綱H20年2月1日施行) ホームページ等による市民への情報提供 | イオン北海道株式会社 外63店舗 | 平成31年 4月 1日～ 令和 2年 3月31日 | 市民と店舗と市の連携によるリサイクル意識の向上及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築やまちづくりの推進に繋がっている。 |
| 10 | 「053(ゼロゴミ)の日」 (春・秋) (ゼロゴミ推進課) | 例年実施(昭和62年頃から継続実施) | 昭和62年度より、大掃除月間中の日曜日を、清潔で住みよいまちづくりのため、自主的に清掃を行い、環境美化と清掃意識の高揚を目的に「まちをきれいにする日」と定めた。以来、全市一斉に付近の道路・公園・空き地などの清掃を実施。 平成24年度から「ゼロゴミの日」と改称。 | 町内会、自治会、事業所、学校、子供・老人クラブ等 | 平成31年 4月14日～ 令和元年 5月13日 (179団体16,187人) 令和元年10月 1日～31日 (205団体14,983人) | まちぐるみで清掃活動を行った結果、長期間放置されたごみが拾われ、まちがきれいになったほか、市民の環境美化への意識が高まった。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---------------------------|--------------------|--|---|---|--|
| 11 | 苫小牧市環境美化活動事業 (ゼロごみ推進課) | 例年実施(平成27年頃から継続実施) | 苫小牧市内の環境美化を目的とし、市と町内会(自治会)が協働して事業を実施 (1)地域の清掃 (2)不法投棄又は不適正排出のパトロール (3)文書の配付又は看板の設置等による啓発 (4)折りたたみ式ごみステーション設置の取りまとめ (5)ごみステーション周辺の清掃又は花壇の設置等による環境整備 (6)団体間における環境美化に係る意見交換又は協議 | 町内会・自治会 計80団体 | 平成31年 4月 1日～ 令和 2年 3月31日 (約30,000人) | 環境美化活動を町内会(自治会)と協働で実施することで、地域事情に応じた取組が可能となり、その結果、市民の環境美化への意識が高まった。 |
| 12 | みんなで健幸大作戦!協賛事業 (健康支援課) | 単年度(新規)実施 | 市内の民間団体、市民団体等が開催する事業等に対し、みんなで健幸大作戦!協賛事業として冠の使用を承認する。 | ①武田薬品工業(株) ②商業協同組合苫小牧港市場 ③北海道新聞社・道新スポーツ・(公社)日本パークゴルフ協会 ④東京海上日動火災保険(株)・苫小牧商工会議所 ⑤花園町内会 ⑥光洋町内会 ⑦日本生命保険相互会社苫小牧支社 ⑧北海道米販売拡大委員会 ⑨吉本興業(株) 【次頁に続く。】 | ①苫小牧市民公開講座 「胃がん検診に行こう!2019～胃がん検診はカメラの時代～」 令和元年 6月 8日 ②ぴんころラジオ体操 令和元年 6月～10月の毎週土、日、祝日 ③北海道新聞社杯 第33回パークゴルフ北海道オープン 令和元年 7月14日 ④健康経営優良法人認定実践セミナー 令和元年 7月23日 ⑤はなぞのラジオ体操 令和元年 7月26日～ 8月19日 ⑥町内会夏休みラジオ体操 令和元年 7月26日～ 8月 4日 ⑦ニッセイ健康応援セミナー 令和元年 7月 27日 ⑧ライススポーツセミナー”地産地消”で食とカラダづくり教室 令和元年 7月31日、 8月 1日 ⑨～道民笑いの日×健幸大作戦!～道民笑いの日×よしもと道内キャラバン | 各イベントにおいてロゴマーク等の使用により、みんなで健幸大作戦!を広く周知できた。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|--------------------------------------|--------------------|---|--|--|--|
| | | | | ⑩リレー・フォー・ライフ・ジャパンとまこまい実行委員会 ⑪みなとオアシス苫小牧 ⑫胆振地域パークゴルフ協会連合会 ⑬苫小牧市公設地方卸売市場運営連絡協議機械 ⑭三井住友海上あいおい生命北海道生保支社 ⑮高齢者福祉センター ⑯苫小牧麻雀文化教室 ⑰苫小牧麻雀文化教室 ⑱全国B型肝炎訴訟北海道原告団 | 令和元年 8月 2日 ⑩リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019とまこまい 令和元年 8月24日、25日 ⑪みなとウォーク 令和元年 9月 8日 ⑫胆振東部地震復興支援大会 (パークゴルフ大会) 令和元年 9月27日 ⑬第3回とまこまい市場感謝祭 令和元年 9月29日 ⑭乳がん市民公開講座 「経験者だから伝えられる、『女性のがん』」 令和元年10月 5日 ⑮いきいき健幸まつり 令和元年10月12日 ⑯第10回市民交流健康マージャン大会 令和元年10月13日 ⑰”健幸マージャン大使”養成講座 令和元年11月29日 令和元年12月 6日 ⑱肝炎ウイルス検査を受けよう 令和 2年3月 8日 | |
| 13 | 苫小牧クルーズ船歓迎クラブ『苫人隊』(せんになたい)(港湾・企業振興課) | 例年実施(平成24年頃から継続実施) | 苫小牧市におけるクルーズ船文化の創造を目的とする。クルーズ船寄港情報のお知らせ「苫人隊通信」の発行や寄港時の船内見学会における専用枠の設定、歓迎・出港セレモニーへの参加など。 | 個人(令和元年度現在290名) | カレドニアンスカイ寄港セレモニー 令和元年 5月26日(人数不明) にっぽん丸寄港セレモニー 令和元年 7月10日(人数不明) 飛鳥II寄港セレモニー 令和元年 9月 7日(人数不明) にっぽん丸寄港セレモニー 令和元年 9月26日(人数不明) | よさこい演舞や吹奏楽演奏等により歓迎・出港セレモニーは一定の盛り上がりを見せた。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|--|--------------------------------|--|---|--|--|
| 14 | 令和元年度苫小牧市内企業第一回合同OBOG懇談会 (港湾・企業振興課) | 単年度(新規)実施 | 道央地域のものづくり、特に地元産業のこれからの支える優秀な理系人材の道外への流出抑制、学生と企業とのマッチング機会の創出及び企業支援の側面から、企業合同による企業説明会を開催。 | いすゞエンジン製造北海道㈱、トヨタ自動車北海道㈱、㈱シーヴィテック北海道、北海道曹達㈱ | 令和元年11月21日(約42人) | 企業と学生とのマッチング機会の創出により、相互理解を深め雇用機会創出の促進に資することができた。 |
| 15 | 観光サポーター (観光振興課) | 例年実施(平成26年頃から継続実施) | 市で協働して観光振興を図る。市内で開催されるイベントへの協力。市の歴史、文化、自然施設を案内する業務、その他市の観光振興に資するための事業への協力。 | 個人(令和元年度登録者は、15人) | 令和元年 5月 26日(2人) 令和元年 8月 2日~4日(5人) 令和元年11月 2、3日(4人) 令和 2年 1月23、24日(4人) | 運営本部のテント内及び会場内の観光案内業務を行っていただき、人手が足りない中で観光振興課としては、大変助けられた。 |
| 16 | 錦大沼ハナショウブ園のイベント開催 (緑地公園課) | 例年実施(平成27年頃から継続実施(平成28年度を除く。)) | 市の草の花『ハナショウブ』が多く植えられている錦大沼ハナショウブ園のPRイベントに協力する。 | はなしょうぶの会(苫小牧ヤクルト販売㈱、(有)アートスタジオNON、マルゼン食品㈱、㈱苫小牧中野自動車学校、北光印刷㈱、㈱華紋、公益社団法人苫小牧地方法人会)、一般社団法人苫小牧観光協会、苫小牧ロータリークラブ | 令和元年 7月21日 (約1,250人) | イベントに多くの市民が訪れ、市の草の花『ハナショウブ』のPRすることができた。 |
| 17 | 苫小牧クリーンアップ・サポーター制度 (緑地公園課) | 例年実施(平成14年頃から継続実施) | 住民や団体などのボランティア活動により、道路や公園など公共施設の環境美化活動を行うことで、清潔で美しい街を保つ。 | 38団体、3個人で登録し、合計登録者数1,911人(うち、パークゴルフ場維持管理を中心とした団体は、13団体) | 平成31年 4月 1日~ 令和 2年 3月31日 | 地域の道路や公園がきれいに保たれている。 パークゴルフ場は、芝刈りなどの作業をしていただいていることから、コースがきれいに保たれて多くの利用者に喜ばれている。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---------------------------------------|--------------------|--|--|--|--|
| 18 | 「水を汚染から守る会」による水道水源地域の清掃活動 (錦多峰浄水場) | 例年実施(平成18年頃から継続実施) | 苫小牧市の水道は、樽前山麓から表流水として河川に流れ込む水を市民の大事な水源として活用している。 この水源を汚染から守るため、水源地域の清掃活動を市内の行政機関や事業者と連携を図りつつ実施することを目的としている。 具体的な活動内容は、年2回の清掃活動(春、秋)の実施である。 | 国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧河川事務所、北海道胆振総合振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所、苫小牧漁業協同組合、林野庁北海道森林管理局胆振東部森林管理署、胆振東部流域森林・林業活性化センター、苫小牧管工事業協同組合、株式会社とませい、山本浄化興業株式会社 | 春の清掃活動 令和元年 5月29日 (72人) 秋の清掃活動 令和元年10月23日 (69人) | ①回収実績 ・春の清掃活動 不燃ごみ410kg・粗大ごみ50kg・その他廃棄物(テレビ4台、ホイール付タイヤ20本ほか) ・秋の清掃活動 不燃ごみ1030kg・粗大ごみ430kg・その他廃棄物(テレビ5台、エアコン2台外) ②取組PR ・春及び秋の清掃活動後、苫小牧市Facebookに掲載し、多数の市民の反響をいただいております。 |
| 19 | ストーリーテリングとギターの夕べ (中央図書館) | 例年実施(平成23年頃から継続実施) | 市内朗読サークルの協力を得ることで、図書館単体では提供できない芸術・文化鑑賞機会を提供するとともに、団体に対しては活動の発表機会を提供する。 | ストーリーテリング「おはなしオルゴール」 | 令和元年 7月27日 (67人) | 今年度は、サンガーデン内池ステージにて開催。朗読とギター演奏のコラボで来場者も多く盛況のうちに終了できた。 |
| 20 | 本のぱくりっこ市 (中央図書館) | 例年実施(平成22年頃から継続実施) | 図書館と図書館ボランティアグループ等が協力し、図書館に寄せられた本と市民の持ち寄る本を交換することで、本の再利用と図書館の利用促進を図る。 | 図書館ボランティアグループ | 令和元年 7月27日 (110人) | 毎年好評の事業で市民、ボランティアの方々に認知されている事業である。ボランティア同士の交流の場としても活用いただいている事業であり、読書推進と市民協働の両面で効果を生み出す事業となっている。 |
| 21 | 子ども俳句教室 (中央図書館) | 例年実施(平成27年頃から継続実施) | 児童を対象として俳句を作る楽しさを体験してもらい、俳句・文学に触れてもらうことで、読書活動へ関心を持ってもらうことを目的とする。 | 苫小牧俳句協会 | 令和元年 7月28日 (6人) | 公園を散策しながら「俳句のねた」を探し、子どもたちが自分の言葉で「俳句」を作るという創造性を養う上でもとても良い企画だったと思う。例年参加してくれる児童もおり次年度も継続して開催したい。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|---|------------------------|---|------------------------------------|---------------------------------------|--|
| 22 | 青空子どもと しょかん「えが おとタッチ！え ほんとタッ チ！」 (中央図書館) | 例年実施（昭和62年 頃から継続実施） | 図書館と図書館の読み聞かせボ ランティアグループが協力し、通 常館内で行われる読み聞かせを屋 外で楽しんでもらう取組 | にじのはし、苦小牧子 どもの本の会、でんで ん虫サークル | 令和元年 8月 1日（140人） | 毎年恒例の企画となっている。 図書館前の公園での実施というこ とで集客は天候に左右されやす く、今回は大変暑い日だったこと もあり、例年参加いただいている 保育園の団体参加がなく、残念で はあったものの、多くの親子連れ の参加があり盛況だった。参加者 はおひさまの下で楽しく過ごされ ていた。 |
| 23 | 朗読研修会 (中央図書館) | 例年実施（平成26年 頃から継続実施） | 図書館の対面朗読サービスに協 力いただいているボランティア 団体に対し、研修機会を提供する ことで、サービスの質的向上を図 り、ひいては市民サービスの向上 を目指すもの。今回は図書館内 での会場ではなく「苦小牧市民活 動センター」にて実施した。 | 苦小牧市朗読赤十字奉 仕団 | 令和元年 9月13日（15人） | 毎年定期的に行うことによ り、参加者のスキルアップが図れ る事業。技術向上することによ り、より良いサービスの提供が可 能となるため、今後も継続してい く。 また、スタッフが視覚障がい者向 けサービス内の一つである朗読技 能の研修を受ける事で図書館サー ビスの向上を図ることができる。 |
| 24 | 定例お話し会おは なし広場 (中央図書館) | 例年実施（平成元年 頃から継続実施） | 図書館ボランティア読み聞かせ グループ等の協力を得て、子ども たちの読書活動の推進を図る。 | 図書館ボランティア読 み聞かせグループ等 | 平成31年 4月 1日～ 令和 2年 3月31日 (522人) | 定例の図書館事業であるが、継 続的な読書推進事業として欠かせ ない事業。定期的に図書館へ足を 運んでもらう事により、参加者同 士、参加者とボランティアとのコ ミュニケーションの場としても活 用されている。令和元年度は新型 コロナウイルス感染拡大の影響に より、3月開催のおはなし会は中 止となり、実施回数、参加人数と もに例年比で減少した。 |

| No. | 協働事業の名称 (担当課) | 実施区分 | 協働事業の目的、内容等 | 取組に関係した団体等 | 実施年月日、参加人数 | 取組の効果、市民からの反響等 |
|-----|----------------------------------|------------------------|---|--|--|--|
| 25 | おはなし玉手箱 (中央図書館) | 例年実施(平成27年 頃から継続実施) | 図書館で活動する団体に活動発表の場を設定し、図書館利用者に対して朗読・読み語り活動という文化活動に触れるきっかけとなる事を目的とする。 | 朗読サークルびーどろ、絵本の森、でんでんむしサークル、子ども本の会、おはなしオルゴール、朗読サークル花音、にじのはし、響 | 令和元年11月10日(56人) | 今回は一般への読み聞かせ、朗読といった各団体の活動発表のほかにエントランスでの各団体の活動紹介パネル展も併せて実施し、新規会員の獲得のためのPRも行った。参加者も昨年の39人より増え、効果があったと思われる。次年度も継続の予定ではあるが、内容について再度検討し各団体にとってよりよい場となるよう進めていく。 |
| 26 | 苫小牧市美術博物館ボランティア運営登録事業 (美術博物館) | 例年実施(平成25年 頃から継続実施) | 美術や博物事業に関する見識や熱意を有する方々の協力を得て、市民と協働した美術博物館活動を組織的に推進し、館事業の円滑な運営を図るため、ボランティア登録制度を導入し、活動を行うために必要な支援を行う。 | 苫小牧市美術館友の会 | 平成31年 4月19日(13人) 平成31年 4月26日(12人) 令和元年 6月27日(7人) 令和元年 7月12日(18人) 令和元年 9月20日(15人) 令和元年10月 4日(14人) 令和元年12月 6日(10人) 令和 2年 2月 7日(10人) 令和 2年 3月15日(新型コロナウィルスの影響で中止) (延べ 99人) | 各展覧会において、受付・案内・監視業務をしていただいたことで、職員の業務負担が軽減され、別の業務を行うことができた。監視業務においては、気づいたことや観覧者からのご意見など学芸員に伝えていただき、細やかな対応をすることができた。また、年8回の研修会を通して、当館の事業に対する理解を得られたと同時に展覧会前の展示解説等は好評を得ている。 |

④ 協働の形態：後援（325件）

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|---|-----------|
| 1 | 婚活パーティー2019 ～とまこ・My・Love～ | 苫小牧商工会議所 | 政策推進課 |
| 2 | WYJ苫小牧ホームステイプログラム・ゲートシティ国際交流プログラム | 特定非営利活動法人エクスプローラー北海道 | 国際リゾート戦略室 |
| 3 | IRゲーミングEXPO2019&ゲーミングEXPO&コンGRES | IRゲーミングEXPO実行委員会、ツーリズムEXPOジャパン実行委員会Clarion Events Limited, ㈱博報堂 | 国際リゾート戦略室 |
| 4 | 第1回北海道統合型リゾート産業展 | 第1回北海道統合型リゾート産業展実行委員会 | 国際リゾート戦略室 |
| 5 | TOMAKOMAI DISCO CARNIVAL | 苫小牧DISCO愛好会 | まちづくり推進課 |
| 6 | 第9回とまこまいっしょ！グランプリ | とまこまい味な倶楽部 | まちづくり推進課 |
| 7 | 苫小牧駅前野外フェス「活性の火'19」 | 活性の火実行委員会 | まちづくり推進課 |
| 8 | 2019 バスの日 in TOMAKOMAI | 道南バス交通安全誠会 | まちづくり推進課 |
| 9 | バス利用者満足度向上事業（たなばたバス・クリスマスバス・明徳小学校ギャラリーバス、ひな祭りバス） | 道南バス交通安全誠会 | まちづくり推進課 |
| 10 | 2019年度第37回知事杯全道サッカー選手権大会苫小牧地区大会 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 11 | 苫小牧ライオンズクラブ旗争奪 第48回苫小牧少年剣道大会 | 苫小牧剣道連盟 | スポーツ都市推進課 |
| 12 | 平成31年度第39回北海道少年少女空手道錬成大会 | 北海道空手道連盟 | スポーツ都市推進課 |
| 13 | 第40回全国中学校アイスホッケー大会 | 第40回全国中学校アイスホッケー大会実行委員会 | スポーツ都市推進課 |
| 14 | 第38回北海道高等学校少林寺拳法選手権大会 兼第46回全国高等学校少林寺拳法大会北海道予選会 | 北海道苫小牧東高等学校長 | スポーツ都市推進課 |
| 15 | 2019年度 東胆振中学校体育大会夏季大会 | 東胆振中学校体育連盟 | スポーツ都市推進課 |
| 16 | Jr. Athletic Fellowship 2019 第37回北海道小学校陸上競技大会苫小牧会場 | 苫小牧陸上競技協会 | スポーツ都市推進課 |
| 17 | とまみん少年野球教室 | 苫小牧民報社 | スポーツ都市推進課 |
| 18 | 長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント | セガサミーカップゴルフトーナメント/セガサミーホールディングス(株) | スポーツ都市推進課 |
| 19 | 第16回北海道選抜還暦軟式野球大会 | 北海道還暦軟式野球連盟/北海道選抜軟式野球大会実行委員会 | スポーツ都市推進課 |
| 20 | 日本女子プロ野球リーグティアラカップ2019北海道大会 | 一般社団法人日本女子プロ野球機構 | スポーツ都市推進課 |
| 21 | 第59回北海道高等学校テニス選手権大会兼第109回全国高等学校テニス選手権大会北海道地区予選会 | 第59回北海道高等学校テニス選手権大会当番学校長（苫工） | スポーツ都市推進課 |
| 22 | 第8回 苫小牧ビアリーグ | 苫小牧ビアリーグ普及委員会 | スポーツ都市推進課 |
| 23 | 第55回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会 | 苫小牧工業高等専門学校 | スポーツ都市推進課 |
| 24 | 令和元年度 胆振中学校体育大会 | 胆振中学校体育連盟 | スポーツ都市推進課 |
| 25 | 第49回北海道ラグビーフットボール選手権大会 | 北海道ラグビーフットボール協会胆振支部 | スポーツ都市推進課 |
| 26 | 北海道日本ハムファイターズ サマーベースボールフェスティバル2019 | 北海道日本ハムファイターズ | スポーツ都市推進課 |
| 27 | 2019年度（公財）苫小牧市体育協会事業 | （公財）苫小牧市体育協会 | スポーツ都市推進課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|-----------------------------|-----------|
| 28 | 苫小牧ライオンズクラブ旗争奪 第53回日胆東部剣道大会 | 苫小牧剣道連盟 | スポーツ都市推進課 |
| 29 | スポーツチャンバラ第25回北海道選手権大会兼第23回障がい者交流合同大会 | 北海道スポーツチャンバラ協会 | スポーツ都市推進課 |
| 30 | 胆振東部地震復興支援大会（パークゴルフ大会） | 胆振地区パークゴルフ協会連合会 | スポーツ都市推進課 |
| 31 | 2019JCYインターシティカップ（U-15）EAST | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 32 | JFAキッズサッカーフェスティバル2019 北海道in苫小牧 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 33 | JFAフットボールデー2019北海道in苫小牧 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 34 | 第34回NHK杯争奪中学・高校アイスホッケー大会 兼 第61回日胆中学アイスホッケー大会 | 苫小牧アイスホッケー連盟 | スポーツ都市推進課 |
| 35 | 第25回 全日本フットサル選手権大会 苫小牧地区予選 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 36 | 第42回 苫小牧市民ラグビー祭 | 苫小牧市ラグビーフットボール協会 | スポーツ都市推進課 |
| 37 | 第23回トヨタ北海道カップジュニアサッカー大会 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 38 | とまこまいウォーキング | 苫小牧ウォーキング実行委員会 | スポーツ都市推進課 |
| 39 | 苫小牧カップ vol. 3 | （株）ロックス | スポーツ都市推進課 |
| 40 | 第7回全道小学生低学年（U9）アイスホッケー大会 | 苫小牧アイスホッケー連盟 | スポーツ都市推進課 |
| 41 | スポーツチャンバラ第19回胆振選手権大会兼第19回苫小牧市選手権大会 | 胆振スポーツチャンバラ協会 | スポーツ都市推進課 |
| 42 | 2019会長杯争奪苫小牧地区フットサル選手権大会 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 43 | 第17回会長杯全道室内オープンアーチェリー大会 | 苫小牧アーチェリー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 44 | 第25回「赤い羽根」ティボール北の甲子園記念大会北海道知事Cup | 赤い羽根ティボール北の甲子園大会実行委員会 | スポーツ都市推進課 |
| 45 | 第52回北海道高等学校新人バドミントン大会兼第48回全国高等学校選抜バドミントン大会南北海道予選会 | 北海道バドミントン協会、苫小牧地区バドミントン協会 | スポーツ都市推進課 |
| 46 | 教育研修を目的とした建設協会の講演会 | （一社）苫小牧建設協会、教育研修委員会 | スポーツ都市推進課 |
| 47 | 2019年度TFAキッズ（U-8）サッカーフェスティバル | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 48 | 第5回あそび塾杯ちびっこタグラグビーチャンピオンシップ兼第3回道新杯タグラグビー大会 胆振予選大会 | （一社）総合型地域スポーツクラブ とまこまい・あそび塾 | スポーツ都市推進課 |
| 49 | JFA 第25回 全日本フットサル選手権大会 北海道代表決定戦 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 50 | 苫小牧地区フットサルチャレンジデー2020 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 51 | 苫小牧フットサル総合選手権大会2020 | 苫小牧地区サッカー協会 | スポーツ都市推進課 |
| 52 | 第64回青色申告会北海道ブロック大会 | 北海道青色申告会連合会 苫小牧地方青色申告連合会 | 市民税課 |
| 53 | 地域防災に関する講習会 | 北海道郵便局長協会 胆振地区郵便局長会 | 危機管理室 |
| 54 | 令和元年度第1回防災ボランティア登録者研修交流会 | 苫小牧市社会福祉協議会 | 危機管理室 |
| 55 | 苫小牧港開発株式会社創立60周年記念事業 「迫りくる自然災害に対する公民連携について考える」シンポジウム | 苫小牧港開発(株) | 危機管理室 |
| 56 | 令和元年度防災ボランティア講座 | 苫小牧市社会福祉協議会 | 危機管理室 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|---|---------|
| 57 | 陸上自衛隊第7音楽隊第44回定期演奏会 | 陸上自衛隊第7師団 | 危機管理室 |
| 58 | 令和元年度第2回防災ボランティア登録者研修交流会 | 苫小牧市社会福祉協議会 | 危機管理室 |
| 59 | 事業継続計画「BCP」策定勉強会 | 公益財団法人道央産業振興財団 | 危機管理室 |
| 60 | ハスカップフリーマーケット | 苫小牧フリーマーケット実行委員会 | 市民生活課 |
| 61 | とまこまいフリーマーケットS | 苫小牧フリーマーケット実行委員会 | 市民生活課 |
| 62 | ラブアース・クリーンアップ in 北海道2019 | 特定非営利活動法人北海道市民環境ネットワーク | ゼロごみ推進課 |
| 63 | シンポジウム「柳生博と学ぶ 勇払原野の魅力～安平川河道内調整池の賢明な利用を考える～」 | 公益財団法人 日本野鳥の会 | 環境生活課 |
| 64 | ボランティア体験プログラム | 社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会 | 総合福祉課 |
| 65 | 市民ボランティア講座兼介護支援いきいきポイント事業登録者スタートアップ研修会 | 社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会 | 総合福祉課 |
| 66 | 点訳ボランティア初心者講習会 | 社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会 | 総合福祉課 |
| 67 | 朗読ボランティア初心者講習会 | 社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会 | 総合福祉課 |
| 68 | アイヌ伝統工芸作品展 | 苫小牧うぼぼ | 総合福祉課 |
| 69 | 第40回老人オリンピック | 苫小牧市老人クラブ連合会 | 総合福祉課 |
| 70 | 第52回老人演芸大会 | 苫小牧市老人クラブ連合会 | 総合福祉課 |
| 71 | 認定NPO法人平尾正晃ラブ&ハーモニー基金 福祉コンサート | 認定NPO法人平尾正晃ラブ&ハーモニー基金 | 総合福祉課 |
| 72 | ひきこもりサテライト・カフェin苫小牧 | 特定非営利活動法人レター・ポスト・フレンド相談ネットワーク | 総合福祉課 |
| 73 | デフ・パペットシアター・ひとみ苫小牧公演 | デフ・パペットシアター・ひとみ苫小牧公演実行委員会 | 障がい福祉課 |
| 74 | 第52回全道ろうあ者夏季体育大会 | 第52回全道ろうあ者夏季体育大会実行委員会 | 障がい福祉課 |
| 75 | 障がい児のアドベンチャースクール「いけまぜ夏フェス2019inいわみざわ」 | 特定非営利法人障がい児の積極的な活動を支援する会にわとりクラブ | 障がい福祉課 |
| 76 | 第53回苫小牧市障がい者スポーツ大会 | 苫小牧身体障がい者福祉連合会 | 障がい福祉課 |
| 77 | 令和元年度苫小牧腎友会・北海道難病連苫小牧支部 医療講演会「多発性嚢胞腎の診断と治療について」 | 苫小牧腎友会 北海道難病連苫小牧支部 | 障がい福祉課 |
| 78 | 「聞こえないってどんなことi?」体験型イベント～手話でステキなコミュニケーション～」 | 苫小牧聴力障害者協会、苫小牧手話の会、苫小牧手話通訳問題研究会、苫小牧手話サークルひまわり | 障がい福祉課 |
| 79 | 令和元年度バリアフリー教室（新千歳空港会場） | 国土交通省 北海道運輸局 | 障がい福祉課 |
| 80 | 発達障害の子どもを伸ばす言葉かけ | フラワーパレット 川合奈苗 | 障がい福祉課 |
| 81 | 「障がい者の日」記念文化祭&第34回苫小牧身体障がい者福祉大会 | 苫小牧身体障がい者福祉連合会 | 障がい福祉課 |
| 82 | NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会「学習会」 | NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会 | 障がい福祉課 |
| 83 | 耳の日記念事業「第11回手話を知るつどい」 | 苫小牧聴力障害者協会、苫小牧手話の会、苫小牧手話通訳問題研究会、苫小牧手話サークルひまわり | 障がい福祉課 |
| 84 | NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会「星に語りて～Starry Sky～」鑑賞会 | NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会 | 障がい福祉課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|---|----------|
| 85 | 映画上映会 | だるまYoga | こども支援課 |
| 86 | 寺子屋こども食堂 | NPO法人寺子屋こどもの未来 | こども支援課 |
| 87 | おいでよ！自由の森 | NPO法人木と風の香り | こども支援課 |
| 88 | 令和元年度北海道里親研修大会・全国里親会北海道地区里親研修大会 | 北海道、全国里親会、北海道地区里親会連絡協議会、日胆はまなす里親会 | こども支援課 |
| 89 | 苫小牧市民公開講座「胃がん検診に行こう！2019」 | 武田薬品工業株式会社 | 健康支援課 |
| 90 | リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019とまこまい | リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019とまこまい実行委員会 | 健康支援課 |
| 91 | ニッセイ健康応援セミナー | 日本生命保険相互会社苫小牧市支社 | 健康支援課 |
| 92 | 令和元年度「救急医療教室」 | 一般社団法人苫小牧市医師会 | 健康支援課 |
| 93 | 第10回市民交流健康マージャン大会 | 苫小牧麻雀文化教室 | 健康支援課 |
| 94 | ”健幸マージャン大使”養成講座 | 苫小牧麻雀文化教室 | 健康支援課 |
| 95 | 肺がん市民公開講座 | 中外製薬株式会社、住友生命保険相互会社 | 健康支援課 |
| 96 | 市民のための医学講座 第4回 「前立腺がんを知ろう！」 | 苫小牧市立中央図書館、医療法人王子総合病院、苫小牧市立病院 | 健康支援課 |
| 97 | 講演会「子育ては自分育て ～食と言葉のシャワーで育む～」 | ラジこらん | 健康支援課 |
| 98 | CCS講演会「地球温暖化とCCS」※共催も有り | 日本CCS調査株式会社（主催）、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、苫小牧CCS促進協議会（市事務局） | 港湾・企業振興課 |
| 99 | 子ども向け実験教室 | 日本CCS調査株式会社 | 港湾・企業振興課 |
| 100 | 地域企業と室蘭工業大学との交流会 | 胆振総合振興局 | 港湾・企業振興課 |
| 101 | 苫東インダストリアルパークフォトコンテスト2019 | 株式会社苫東 | 港湾・企業振興課 |
| 102 | 講演会「コンテナターミナルの自動化、遠隔操作化について」 | 苫小牧港利用促進協議会 | 港湾・企業振興課 |
| 103 | スマートものづくり導入促進フォーラム | 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター | 工業・雇用振興課 |
| 104 | ママナビフェスタ2019苫小牧 | 株式会社MammyPro | 工業・雇用振興課 |
| 105 | ビジネスEXPO「第33回北海道 技術・ビジネス交流会」 | 北海道 技術・ビジネス交流会実行委員会 | 工業・雇用振興課 |
| 106 | 北海道の働く女性応援プロジェクト「HATAJOラボ」スキルアップセミナー&ディスカッション | 北海道新聞社 | 工業・雇用振興課 |
| 107 | アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2019 北海道地区大会 | 苫小牧工業高等専門学校 | 工業・雇用振興課 |
| 108 | 第20回非鉄鋳物の高度化技術研究会最先端技術セミナー | 公益社団法人日本鑄造工学会北海道支部 | テクノセンター |
| 109 | 第10回百縁商店街事業 | 苫小牧中心商店街街づくり実行委員会 | 商業振興課 |
| 110 | 料理コンクール(第18回) | 北海道日本料理研究会苫小牧支部 | 商業振興課 |
| 111 | 創業フォローアップセミナー苫小牧 | 日本政策金融金庫室蘭支店 | 商業振興課 |
| 112 | IKOR×LOPPIS サマーマーケット2019 vol.7 | イコロの森/LOPPIS実行委員会 | 観光振興課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|------------------------------------|----------------------------|-------|
| 113 | 第13回素人そば打ち段位認定苫小牧大会 | 素人そば打ち段位認定苫小牧大会 | 観光振興課 |
| 114 | 第11回苫小牧港はすかつぶポートレース | 第11回苫小牧港はすかつぶポートレース実行委員会 | 観光振興課 |
| 115 | JRヘルシーウォーキング2019（10月・11月） | 株式会社北海道ジェイ・アール・サービスネット | 観光振興課 |
| 116 | 第13回東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい | 東胆振地産地食フェア・イン・とまこまい実行委員会 | 観光振興課 |
| 117 | 北海道ブルザードラリー | AG. メンバーズスポーツクラブ北海道 | 観光振興課 |
| 118 | 第34回EZO ENDLEDD RARRY | モータースポーツクラブ・エゾ | 観光振興課 |
| 119 | 支笏洞爺国立公園指定70周年シンポジウム | 北海道地方環境事務所 | 観光振興課 |
| 120 | 第50回秋の北海道展 | 福島テレビ(株) | 観光振興課 |
| 121 | 第51回春の北海道展 | 福島テレビ(株) | 観光振興課 |
| 122 | とまこまい・東いぶりカレーラーメンマップ（第7弾） | とまこまいカレーラーメン振興局 | 観光振興課 |
| 123 | とまこまい・東いぶりカレーラーメンマップ（第8弾） | とまこまいカレーラーメン振興局 | 観光振興課 |
| 124 | 令和元年記念第25回宮古市産業まつり | 宮古市産業まつり実行委員会 | 観光振興課 |
| 125 | 苫小牧洋ラン展 | 苫小牧蘭友会 | 緑地公園課 |
| 126 | 福祉の学習 | 社会福祉法人 苫小牧市社会福祉協議会 | 総務企画課 |
| 127 | リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019とまこまい | リレー・フォー・ライフ・ジャパンとまこまい実行委員会 | 総務企画課 |
| 128 | 第13回ウイズガス全国親子クッキングコンテスト 北海道地区大会 | 苫小牧ガス株式会社 | 総務企画課 |
| 129 | 胆振東部地震復興支援背骨コンディショニング・スペシャルレッスン | 一般社団法人 背骨コンディショニング協会 | 総務企画課 |
| 130 | 教育カウンセリング学習会 | 真鍋 孝徳 | 総務企画課 |
| 131 | 苫小牧港体験航海 | 海の月間苫小牧地区実行委員会 | 総務企画課 |
| 132 | 子ども現場見学会「夏休み宿題教室」 | 日本CCS調査株式会社 | 総務企画課 |
| 133 | なるほど学習会「ワタシタチノ水道ノ未来～水道はみんな（公共）の財産」 | 非営利自治支援事務所Pucca | 総務企画課 |
| 134 | 2019年度「王子の森・自然学校」北海道校 | （公社）日本環境教育フォーラム | 総務企画課 |
| 135 | 第19回 子どもわくわく教室in苫小牧 「南極教室」 | Let's Kids うとねつと苫小牧支部 | 総務企画課 |
| 136 | ぱんだちゃんのおうち学校まつり | ぱんだちゃんのおうち学校まつり実行委員会 | 総務企画課 |
| 137 | 2019年度「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー」 | トヨタ自動車北海道株式会社 | 総務企画課 |
| 138 | ジュニアボランティア活動育成事業（ボランティアスクール） | 苫小牧市 | 総務企画課 |
| 139 | 夏休みおしごとキッズ ステイ店 | 生活協同組合コープさっぽろ | 総務企画課 |
| 140 | あの日を忘れない | ヒロシマ・ナガサキを語り継ぐ会 | 総務企画課 |
| 141 | 生活困窮世帯子どもの学習支援事業 | 苫小牧市 | 総務企画課 |
| 142 | 親子孫でたのしい 大道仮説実験講座（8月・10月） | NPO法人楽知ん研究所 | 総務企画課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|--------------------------|-------|
| 143 | 第47回夏休み読書感想画コンクール | 苫小牧市立中央図書館 指定管理者 TRCグループ | 総務企画課 |
| 144 | 2019年度公開講座 | 苫小牧工業高等専門学校長 | 総務企画課 |
| 145 | 帆船「海王丸」海洋教室 | 公益財団法人 海技教育財団 | 総務企画課 |
| 146 | 介護のしごと普及啓発事業 | 北海道 | 総務企画課 |
| 147 | 平成31年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム「Hokkaido 女子中高生『RiKoのきやりさぼ』プロジェクト」 | 苫小牧工業高等専門学校長 | 総務企画課 |
| 148 | 平成31年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム「Hokkaido 女子中高生『RiKoのきやりさぼ』プロジェクト」女子カフェin苫小牧高専 | 苫小牧工業高等専門学校長 | 総務企画課 |
| 149 | 平成31年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム「Hokkaido 女子中高生『RiKoのきやりさぼ』プロジェクト」企業見学会 | 苫小牧工業高等専門学校長 | 総務企画課 |
| 150 | 平成31年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム「Hokkaido 女子中高生『RiKoのきやりさぼ』プロジェクト」キャリアセミナー | 苫小牧工業高等専門学校長 | 総務企画課 |
| 151 | 平成31年度女子中高生の理系進路選択支援プログラム「Hokkaido 女子中高生『RiKoのきやりさぼ』プロジェクト」学び体験vol.1 | 苫小牧工業高等専門学校長 | 総務企画課 |
| 152 | 『とまこまい港まつり 小学生夏休み 電気実験工作教室』 | 苫小牧電気工業協同組合青年部 | 総務企画課 |
| 153 | セーフティウェーブイン苫小牧2019(副題、交通安全のタベ) | セーフティウェーブイン苫小牧実行委員会 | 総務企画課 |
| 154 | 令和元年度 胆振管内教頭会 夏季研究大会 | 胆振管内教頭会 | 総務企画課 |
| 155 | 令和元年度 胆振地区高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会 | 北海道高等学校長協会胆振支部定通部会理事 | 総務企画課 |
| 156 | 「こども防災&国際交流キャンプ」 | こども防災協会 | 総務企画課 |
| 157 | キッズエンジニアinトヨタ自動車北海道2019 | 公益社団法人自動車技術会 北海道支部 | 総務企画課 |
| 158 | 胆振東部地区母親研修会 | 胆振東部PTA連合会 | 総務企画課 |
| 159 | コープさっぽろ「食べる・たいせつフェスティバル」2019in苫小牧 | 生活協同組合コープさっぽろ苫小牧地区委員会 | 総務企画課 |
| 160 | 教育カウンセリング学習会 | 真鍋 孝徳 | 総務企画課 |
| 161 | ロボット教室無料体験会 | (株)O T i s | 総務企画課 |
| 162 | ひきこもりサテライト・カフェin苫小牧 | 非特定営利法人 レター・ポスト・フレンド | 総務企画課 |
| 163 | NIE第14回日胆地区セミナーin苫小牧 | 北海道NIE推進協議会 | 総務企画課 |
| 164 | 発達障害の子供を伸ばす言葉かけ | とまこまいフラワーパレット | 総務企画課 |
| 165 | 親子みんなの相談室 Sala | 畠山俊彦 | 総務企画課 |
| 166 | 特定非営利活動法人 子ども総合支援ネットワーク | 畠山俊彦 | 総務企画課 |
| 167 | 胆振教育講演会 | 胆振教育振興事業推進実行委員会 | 総務企画課 |
| 168 | セーフティウェーブイン苫小牧2019(副題、交通安全のタベ) | 苫小牧地方安全運転管理者事業主会 | 総務企画課 |
| 169 | 子ども向け実験教室 | 日本CCS調査株式会社 | 総務企画課 |
| 170 | 教育の実践交流サークル 拡大学習会 | 教育の実践交流サークル | 総務企画課 |
| 171 | ぷよぷよeスポーツ 2019年全道王者決定戦5ブロック大会 | 株式会社 Otis | 総務企画課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|-------------------------|-------|
| 172 | 苫小牧子ども茶屋 | 特定非営利活動法人子ども総合支援ネットワーク | 総務企画課 |
| 173 | 第58回苫小牧地区中学校学級新聞コンクール・第45回苫小牧地区小学校学級新聞コンクール | 苫小牧民報社 | 総務企画課 |
| 174 | ママナビフェスタ2019苫小牧 | (株)M a m m y P r o | 総務企画課 |
| 175 | 学校・施設見学会 | N P O 法人苫小牧市手をつなぐ育成会 | 総務企画課 |
| 176 | みんなの暮らしの講習会 | 苫小牧友の会 | 総務企画課 |
| 177 | 第20回 子どもわくわく教室IN苫小牧 | Let's Kids うとねっと苫小牧支部 | 総務企画課 |
| 178 | 年賀状ゆうびんツアー | 日本郵便(株)北海道支社 | 総務企画課 |
| 179 | (仮) とまこまいの子どもの人権を考えるシンポジウム | N P O 法人寺子屋こどもの未来 | 総務企画課 |
| 180 | 親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座 | N P O 法人 楽知ん研究所 | 総務企画課 |
| 181 | 第36回「障がい者の日」記念文化祭・第34回苫小牧身体障がい者福祉大会 | 苫小牧市身体障がい者福祉連合会 | 総務企画課 |
| 182 | 教育の実践交流サークル 拡大学習会 | 教育の実践交流サークル | 総務企画課 |
| 183 | 令和元年度バリアフリー教室（新千歳空港会場） | 国土交通省 北海道運輸局 | 総務企画課 |
| 184 | 令和元年度（2019年度）北海道高等学校PTA連合会 胆振支部健全育成事業講演会 | 北海道PTA連合会 | 総務企画課 |
| 185 | 苫小牧高専地域連携シンポジウム2019 | 苫小牧工業高等専門学校長 | 総務企画課 |
| 186 | 2019年度 トヨタ少年少女記者団 | トヨタ自動車北海道株式会社 | 総務企画課 |
| 187 | 国際交流&イングリッシュキャンプ | 宮城復興支援センター | 総務企画課 |
| 188 | あそぼう！かせごう！やってみよう！～おしごとごっこ～（仮） | COCOTOMA-ココトマー | 総務企画課 |
| 189 | アナログゲームで遊び倒そう！2020（仮） | COCOTOMA-ココトマー | 総務企画課 |
| 190 | 令和元年度 会員学習会 | N P O 法人苫小牧市手をつなぐ育成会 | 総務企画課 |
| 191 | とまこまい水サミット | 苫小牧市上下水道部・THINK実行委員会 | 総務企画課 |
| 192 | 住んでみたい未来の街を描こう！ココトマ美術展 | COCOTOMA-ココトマー | 総務企画課 |
| 193 | 第21回 子どもわくわく教室in苫小牧 | Let's Kids うとねっと | 総務企画課 |
| 194 | 第52回理科教育推進実験セミナー | 日本理科教育支援センター | 総務企画課 |
| 195 | 教育カウンセリング学習会 | 真鍋 孝徳 | 総務企画課 |
| 196 | 大道仮説実験〈ぶりりん〉講座 | N P O 法人楽知ん研究所 | 総務企画課 |
| 197 | もっと〈ぶんしっし〉講座 | N P O 法人楽知ん研究所 | 総務企画課 |
| 198 | 親子孫で〈たのしい仮説実験〉講座 | N P O 法人楽知ん研究所 | 総務企画課 |
| 199 | アナログゲームで遊ぼう！☆2020 | 親子で楽しむ～とまこまいアナログゲームLab. | 総務企画課 |
| 200 | 映画「星に語りて～Starry Sky～」鑑賞会 | N P O 法人苫小牧市手をつなぐ育成会 | 総務企画課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|------------------------------|-------|
| 201 | 第8回北海道横断！教師力向上教え方セミナー IN 胆振 ※新型コロナウイルス感染症拡散予防のため延期 | NPO法人 Let's Kids うとねっと | 総務企画課 |
| 202 | 映面上映会とワークショップ～ワタシタチノ水道ノ未来 | 非営利自治支援事務所Pucca | 総務企画課 |
| 203 | 第31回全国高等専門学校プログラミングコンテスト | 全国高等専門学校プログラミングコンテスト委員会 | 総務企画課 |
| 204 | 第87回NHK全国学校音楽コンクール室蘭地区大会 | NHK室蘭放送局 | 総務企画課 |
| 205 | 生活困窮世帯子どもの学習支援事業 | 苫小牧市 | 総務企画課 |
| 206 | 国際交流&イングリッシュキャンプ | 宮城復興支援センター | 総務企画課 |
| 207 | 第11回苫小牧新人音楽会 | 苫小牧新人音楽会 | 生涯学習課 |
| 208 | こどものための自然学校 イエティくらぶ（いぶり校） | 特定非営利活動法人いぶり自然学校 | 生涯学習課 |
| 209 | 創立30周年記念 苫小牧みずゑ展 | 苫小牧みずゑ会 | 生涯学習課 |
| 210 | エスペラント入門講習会 | 苫小牧エスペラント会 | 生涯学習課 |
| 211 | 苫小牧西子ども劇場 鑑賞例会 | 苫小牧西子ども劇場 | 生涯学習課 |
| 212 | 第94回 苫小牧美術協会展 | 苫小牧美術協会 | 生涯学習課 |
| 213 | 公益社団法人日本詩吟学院北海道樽前岳風会苫小牧支部 令和元年度吟詠大会 | 樽前岳風会苫小牧支部長 | 生涯学習課 |
| 214 | 親力アップセミナー（5～2月 10回） | （公社）スコレ家庭教育振興協会 苫小牧地区委員会 | 生涯学習課 |
| 215 | 第14回趣味の魅力コンサート | 趣味の魅力コンサート実行委員会 | 生涯学習課 |
| 216 | ボランティア体験プログラム ～ボランティアの世界へようこそ！～ | 社会福祉法人 苫小牧市社会福祉協議会 | 生涯学習課 |
| 217 | 第20回苫小牧絵手紙フェスティバル | 苫小牧絵手紙の会 | 生涯学習課 |
| 218 | 北海道苫小牧東高等学校吹奏楽部 第43回定期演奏会 | 北海道苫小牧東高等学校 | 生涯学習課 |
| 219 | 劇団たんぼぼ公演「ゆずり葉の季節（はる）」 | 公益社団法人教育演劇研究会 劇団たんぼぼ | 生涯学習課 |
| 220 | 第44回苫小牧フォトコンテスト | 苫小牧写真連盟 | 生涯学習課 |
| 221 | 令和元年度 第42回苫小牧演劇フェスティバル「高校演劇祭」 | 苫小牧演劇フェスティバル事務局校 | 生涯学習課 |
| 222 | かんばやしまなぶLIVE2019「うぶごえ～届け生命の歌よ～」 | かんばやしまなぶLIVE実行委員会 | 生涯学習課 |
| 223 | 紙フェスティバル2019 | 紙フェスティバル2019実行委員会 | 生涯学習課 |
| 224 | 沼ノ端新栄公園ステージフェスティバル | 沼ノ端新栄公園ステージフェスティバル実行委員会 | 生涯学習課 |
| 225 | 苫小牧市立青翔中学校吹奏楽部 第3回定期演奏会 | 苫小牧市立青翔中学校吹奏楽部後援会 | 生涯学習課 |
| 226 | ユニセフ（国際連合児童基金）支援募金のための諸活動 | （公財）日本ユニセフ協会協定地域組織 北海道ユニセフ協会 | 生涯学習課 |
| 227 | 第12回 自然と遊ぼう！エコ遊び！ | 苫小牧発明研究会 | 生涯学習課 |
| 228 | 苫小牧吹奏楽連盟創立50周年記念演奏会 第8回 春の吹奏楽祭 | 苫小牧市吹奏楽連盟 | 生涯学習課 |
| 229 | TOMA FIELD JAZZ ORCHESTRA 7th LIVE | トマフィールドジャズオーケストラ | 生涯学習課 |
| 230 | 旅する合奏団 親子で楽しむ ぽぷらコンサート | 妙見寺 | 生涯学習課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|--|-------------------------------------|-------|
| 231 | 映画「二重被爆」上映&朗読劇「二重被爆の姉と弟」の会 | タキオンジャパン | 生涯学習課 |
| 232 | 第66回苫小牧市内小学生図画コンクール | (株)三星 | 生涯学習課 |
| 233 | パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌2019 (PMF 2019) | (公財)パシフィック・ミュージック・フェスティバル組織委員会 | 生涯学習課 |
| 234 | 樽前山麓ネイチャーキャンプ | 自然ウォッチングセンター | 生涯学習課 |
| 235 | 苫小牧西子ども劇場 鑑賞例会 | 苫小牧西子ども劇場 | 生涯学習課 |
| 236 | 第3回 音とリズムと笑顔のつどい | 音とリズムと笑顔のつどい実行委員会 | 生涯学習課 |
| 237 | COCOTOMA美術展 『令和のピカソを探せ!』 | (株)Otis | 生涯学習課 |
| 238 | 苫小牧市立和光中学校吹奏楽部 定期演奏会 | 苫小牧市立和光中学校吹奏楽部後援会 | 生涯学習課 |
| 239 | 長生大学詩吟クラブ、琴、二胡の発表会 | 北川 岳道 | 生涯学習課 |
| 240 | 第5回苫小牧市図書館を使った調べる学習コンクール | 苫小牧市立中央図書館 指定管理者TRC苫小牧グループ | 生涯学習課 |
| 241 | 演劇集団「群'73」令和元年記念公演 『銀河旋律』 | 演劇集団「群'73」 | 生涯学習課 |
| 242 | とまこまいキッズタウン2019 | 苫小牧市 | 生涯学習課 |
| 243 | TANZフェスティバル VOL・30 「30回記念公演」 | 坂上 真理子 | 生涯学習課 |
| 244 | 第39回定期演奏会 | 苫小牧市民管弦楽団 | 生涯学習課 |
| 245 | 第64回日胆地区吹奏楽コンクール | 日胆地区吹奏楽連盟 | 生涯学習課 |
| 246 | BUBBLE DANCE JAM 2019 VOL. 2 | BAZZE | 生涯学習課 |
| 247 | BUBBLE DANCE JAM 2019 VOL. 2 無料体験レッスン | BAZZE | 生涯学習課 |
| 248 | ミニセミナー教育講演会 | 苫小牧モラロジー事務所 | 生涯学習課 |
| 249 | 苫小牧合唱団第55回記念定期演奏会 | 苫小牧合唱団 | 生涯学習課 |
| 250 | S D C 苫小牧ホームステイプログラム タイコグループ | 特定非営利活動法人エクスプローラー北海道 | 生涯学習課 |
| 251 | 苫小牧市立啓北中学校吹奏楽部第27回定期演奏会 | 苫小牧市立啓北中学校吹奏楽部後援会 | 生涯学習課 |
| 252 | 苫小牧陶芸協会作品展 | 苫小牧陶芸協会 | 生涯学習課 |
| 253 | コール・ヴォイジャーズ苫小牧男声合唱団オータムコンサート | コール・ヴォイジャーズ苫小牧男声合唱団 | 生涯学習課 |
| 254 | 第五回「市民会館 ホール寄席」 | 苫小牧市民会館指定管理者 北海道クリーン開発・北海道共立コンソーシアム | 生涯学習課 |
| 255 | イブリズム・パーク 2019 | イブリズム | 生涯学習課 |
| 256 | 東日本大震災復興支援 土田英順チャリティコンサート | 妙見寺 | 生涯学習課 |
| 257 | 2019年 苫小牧市長杯争奪全道世代別選手権大会 | 北海道歌謡協会 | 生涯学習課 |
| 258 | 第38回北海道小学校バンドフェスティバル・第35回北海道マーチングコンテスト | 北海道吹奏楽連盟 | 生涯学習課 |
| 259 | パイプオルガン 講習会 | 日本キリスト教団 苫小牧弥生協会 | 生涯学習課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|--|--------------------------|-------|
| 260 | 苫小牧市民吹奏楽団 第46回定期演奏会 | 苫小牧市民吹奏楽団 | 生涯学習課 |
| 261 | 華道家元 池坊苫小牧支部 創立65周年・青年部設立25周年 記念花展 | 華道家元池坊苫小牧支部 | 生涯学習課 |
| 262 | 令和元年度 書と篆刻展 共催 令和天皇の書の先生：桑原翠邦の書-尚墨会・玉筍会- | 尚墨会 | 生涯学習課 |
| 263 | 愛と絆のコーラス交流会 | 川沿町リバーサイド合唱団 | 生涯学習課 |
| 264 | おもちゃライブラリー チャリティーダンスパーティー | 苫小牧市婦人団体連絡協議会 | 生涯学習課 |
| 265 | ボラセン・ギャラリー 2019 | 社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会 | 生涯学習課 |
| 266 | 苫小牧市立明倫中学校吹奏楽部 第27回定期演奏会 | 明倫中学校吹奏楽部後援会 | 生涯学習課 |
| 267 | 苫小牧シティバレエアカデミー&ティアトルバレエクラシックバレエ第1回合同発表会 | 苫小牧シティバレエアカデミー | 生涯学習課 |
| 268 | 第71回苫小牧市文化祭参加第58回苫小牧書道連盟展 | 苫小牧書道連盟 | 生涯学習課 |
| 269 | 第45回 学術講演会～講演と音楽のタベ～ | 札幌学院大学 | 生涯学習課 |
| 270 | 令和元年度 高文連苫小牧支部演劇発表大会 | 北海道高等学校文化連盟苫小牧支部 | 生涯学習課 |
| 271 | かんばやしまなぶとゆかいな仲間たち | 「かんばやしまなぶとゆかいな仲間たち」実行委員会 | 生涯学習課 |
| 272 | 野鳥の教室2019 | (株)地域環境計画 北海道支社 | 生涯学習課 |
| 273 | 第34回 苫小牧民報杯小・中学生将棋大会 | 日本将棋連盟苫小牧支部 | 生涯学習課 |
| 274 | 第34回地元音楽家のタベ アフタヌーンコンサート | 広瀬 豊 | 生涯学習課 |
| 275 | 演劇及び文化創造集団C. A. W第14回公演『そして、足跡を越えて』 | 演劇及び文化創造集団C. A. W | 生涯学習課 |
| 276 | 苫小牧東中学校吹奏楽部『第18回定期演奏会』 | 苫小牧市立苫小牧東中学校 | 生涯学習課 |
| 277 | 札幌交響楽団 苫小牧公演 | 公益財団法人札幌交響楽団 | 生涯学習課 |
| 278 | 沼ノ端ちびっこ吹奏楽団PiterPatterTooters 第3回定期演奏会 | 沼ノ端ちびっこ吹奏楽団保護者会 | 生涯学習課 |
| 279 | NEW YEAR CONCERT 2020 | 苫小牧ウインド・アンサンブル | 生涯学習課 |
| 280 | 苫小牧縄文会講演会 テーマ「北の縄文文化を知る・学ぶ・考える」 | 苫小牧縄文会 | 生涯学習課 |
| 281 | ペーパー・ワールド2019 | ペーパー・ワールド実行委員会 | 生涯学習課 |
| 282 | 絵本おしゃべり会 | 苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会 | 生涯学習課 |
| 283 | 第16回苫小牧東小学校ブラスバンド同好会定期演奏会 | 苫小牧東小学校ブラスバンド同好会 | 生涯学習課 |
| 284 | 第55回苫小牧市内小学生書き初めコンクール | 株式会社新生 苫小牧・室蘭支社 | 生涯学習課 |
| 285 | 第62回苫小牧地方珠算記録会 | 苫小牧商工会議所 | 生涯学習課 |
| 286 | AI～REIWA～ | 菊地 沙也子 | 生涯学習課 |
| 287 | こども聖歌隊「スマイル」第12回チャリティコンサート | 学校法人聖公会北海道学園苫小牧聖ルカ幼稚園 | 生涯学習課 |
| 288 | 第6回アイビークリスマスパティー～フォークダンスのつどい～ | 苫小牧市文化交流センター | 生涯学習課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|--|----------------------------|-------|
| 289 | 日本棋院道南地区支部対抗囲碁大会 | 日本棋院道南地区支部連合会 | 生涯学習課 |
| 290 | 第29回ガラ・コンサート | 豊川小学校吹奏楽同好会 | 生涯学習課 |
| 291 | 2020年 チャリティ 第44回歌謡芸能フェスティバル | 歌謡芸能フェスティバル実行委員会 | 生涯学習課 |
| 292 | J DANCE STUDIO Step's 第8回発表会 | 門田 千恵 | 生涯学習課 |
| 293 | 緑小・美園小スクールバンド同好会 定期演奏会 | 緑小・美園小スクールバンド育成会 | 生涯学習課 |
| 294 | 白川ちあき新曲発表会 | 白川ちあき | 生涯学習課 |
| 295 | 市民のための医学講座 第4回「前立腺がんを知ろう！」 | 苫小牧市立中央図書館 指定管理者TRC苫小牧グループ | 生涯学習課 |
| 296 | 第21回苫小牧合唱まつり | 苫小牧合唱連盟 | 生涯学習課 |
| 297 | 前進座を観る会 | 陽願寺 | 生涯学習課 |
| 298 | 第24回北海道文化団体 全道下の句歌留多 苫小牧大会 | 北海道文化団体 全日本下の句歌留多協会 | 生涯学習課 |
| 299 | 市民公開講座「今どきのこどものことと大人のこと」(仮) | 苫小牧家庭生活カウンセリング協会 | 生涯学習課 |
| 300 | ～元気と未来を苫小牧の子どもたちへ～(仮) | くつろぎサロンLiensりあん | 生涯学習課 |
| 301 | 苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会交流会 | 苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会 | 生涯学習課 |
| 302 | 生涯学習セミナー教育講演会 | 苫小牧モラロジー事務所 | 生涯学習課 |
| 303 | 吉村怜子先生とパイプオルガン受講者によるパイプオルガンコンサート | 日本キリスト教団 苫小牧弥生協会 | 生涯学習課 |
| 304 | 社会福祉基金造成チャリティー 第48回高崎流観昇民謡連合会発表会 ～ワンコインコンサート～ | 高崎流 観昇民謡連合会 | 生涯学習課 |
| 305 | 上映会 福島は語る | 「福島は語る」上映会 | 生涯学習課 |
| 306 | 映画『一粒の麦 荻野吟子の生涯』上映会 | 良い映画を観る会 | 生涯学習課 |
| 307 | 第19回ふれあいコンサート | 苫小牧市民生委員児童委員協議会 | 生涯学習課 |
| 308 | 2020年度ピティナ・ピアノステップ苫小牧地区 | 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 | 生涯学習課 |
| 309 | 無料コミセンふれあい囲碁教室 | 苫小牧囲碁伝統文化普及会 | 生涯学習課 |
| 310 | 青木憲隆教師生活40周年記念祝賀会 | 青木ダンススクール | 生涯学習課 |
| 311 | 令和元年度第19回苫小牧南高校演劇部自主公演 | 北海道苫小牧南高等学校長 | 生涯学習課 |
| 312 | 第21回苫小牧アンデパンダン展 | 苫小牧美術愛好会 | 生涯学習課 |
| 313 | 第13回イマジンコンサート～HEIWAの鐘 | びーすぷろじえくと苫小牧 | 生涯学習課 |
| 314 | 背骨コンディショニング～無料体験会開催～ | 北海道健康サポート倶楽部 | 生涯学習課 |
| 315 | しょうぎであそぼう春休み体験会 | 日本将棋連盟苫小牧支部 | 生涯学習課 |
| 316 | 第8回千葉理恵子「音の花束」シリーズ 田村義一(リコーダー)&千葉理恵子(通奏低音・リコーダー)”リコーダーの芸術” | 千葉 理恵子 | 生涯学習課 |
| 317 | 日本舞踊 吉松派若柳流 春の邦楽邦舞 旭甫会 | 若柳 旭甫 | 生涯学習課 |

| No. | 事業の名称 | 主催者 | 担当部署 |
|-----|---|----------------------------|-------|
| 318 | 朗読と演奏でつなぐ宮沢賢治の世界 最後のヒアラタ朗読ライブ | 最後のヒアラタ朗読ライブ実行委員会 | 生涯学習課 |
| 319 | 外山啓介ピアノリサイタル | 外山啓介ピアノリサイタル実行委員会 | 生涯学習課 |
| 320 | 黒岩真美Presents 第11回音楽祭 TOMAKOMAI MUSIC FESTIVAL | TMF実行委員会 | 生涯学習課 |
| 321 | ボランティア体験プログラム ～ボランティアの世界へようこそ！～ | 社会福祉法人 苫小牧市社会福祉協議会 | 生涯学習課 |
| 322 | 演劇及び文化創造集団C. A. W第15回公演 『五時、アオイの蕾がひらくとき』 | 演劇及び文化創造集団C. A. W | 生涯学習課 |
| 323 | 苫小牧宮沢賢治の集い | 苫小牧宮沢賢治詩碑記念会 | 生涯学習課 |
| 324 | 第39回北海道少年少女空手道練成大会 | 北海道空手道連盟 | 議会事務局 |
| 325 | リレー・フォー・ライフ・ジャパン2019とまこまい | リレー・フォー・ライフ・ジャパンとまこまい実行委員会 | 議会事務局 |